

第2分科会

学習指導B

明石 要一 先生

<略歴>

- ◎ 千葉大学名誉教授
 - ・東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学
 - ・昭和51年千葉大学教育学部助手、53年同講師、55年同助教授、平成5年同教授、平成17年同学部長、千葉敬愛短期大学学長
 - ・文部科学省中央教育審議会委員
 - ・同生涯学習分科会会长
 - ・同スポーツ・青少年分科会委員
 - ・千葉市教育委員（本学関係を除く）



<著書>

- 『戦後の子どもも観を見直す』明治図書、1995年
- 『学級の集団的機能を見直す』明治図書、2002年
- 『データが語る平成の子ども気質』明治図書、2004年
- 『子どもの放課後改革はなぜ必要か』明治図書、2005年
- 『キャリア教育がなぜ必要か』明治図書、2006年
- 『独立法人大学改革－学部長“守旧派”と闘う』明治図書、2007年
- 『子どもの規範意識を育てる』明治図書、2009年
- 『ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか』講談社a新書、2013年
- 『生き方がみえてくるナガシマ学』オークラ出版、2015年
- 『教えられること 教えられないこと』さくら社、2021年
- これまで単著

- 『統率力で危機管理をする原則』編著、明治図書、2011年
- 『統率力で規範意識を育てる』編著、明治図書、2011年

第 40 回教育研究全国大会 IN 宮崎

第 2 分科会 学習指導 B

千葉大学名誉教授 明石要一

「Well-being を目指した授業づくり」

1 児童・生徒はどんな教師を高く評価しているか。具体的に考える。

第 1 位・・・()

第 2 位・・・(親身になって相談をしてくれる)

第 3 位・・・(ひいきしない、公平である)

2 小学生と中学生、それから高校生の教師評価は違うか、同じか。

3 教職経験 6 年以下の若手教師は、教師なって悩んでいることは何か。

第 1 位・・・()

第 2 位・・・(子供の褒め方・叱り方)

第 3 位・・・(特別な支援を必要とする子供の指導がうまくいかない)

第 4 位・・・(勤務時間後の仕事)

第 5 位・・・(ある子供の指導で行き詰った)

「教育調査研究所調査小中学校教師 1035 人対象」より

4 教職経験 6 年以下の若手教師の「教師になって良かった」ことは何か。

第 1 位・・・()

第 2 位・・・子供との一体感・共感

第 3 位・・・授業に関するこ

5 「面白い授業」は「腕（教え方）」と「ネタ（教材）」の比率は何対何か。5 対 5 はダメ

「腕」() 割 「ネタ」() 割

6 6 年生の社会科の「三権分立」（立法、行政、司法）をどう教えるか。

・立法（国会）

・行政（内閣）

・司法（裁判所）

「それぞれで誰か一番か」

7 殿様の「偉さ」「強さ」をどう教えるか。

・参勤交代の行列の仕方に注目

・参勤交代で「トイレ休憩はあるか」

8 明治時代、栃木では鉄道誘致の反対運動が起きたのはなぜか。

- ・今では自治体がお金を出して鉄道の誘致合戦を行っている。それが当時はなぜか反対運動が起きた。ヒントは「家屋」である。

9 理科で偏西風の授業をどう組み立てるか。

新幹線の「上り」と「下り」の時刻は違うか、異なるか。それでは、沖縄と羽田の飛行機の所要時間は「行き」と「帰り」は同じか、違うか。

10 簡便な授業の評価はどうすればよいか。

体育の授業で考える。ポイントを3つ上げる。

- ・()
- ・()
- ・()

11 授業の終わり方では、「クローズ・エンド」より「オープン・エンド」がよいといわれる。それはなぜか。

12 「発問」と「質問」はどこが違うか。授業では発問が大切で、教育相談では「質問」が大切になる。

13 「うとてとこ」の模擬授業をする。

14 選択肢のある発問はなぜよいか。

15 子供の中から「なんとなく、たぶん、おそらく」の言葉がでなくなる授業づくりを行う。

16 「Well-being」になるには、次の4つの要因が必要といわれる。

- ・「やって見る」(トライ・アンド・エラー、試行錯誤)、正解のない課題では必要。
- ・「ありがとう」で、「つながり」を意識する。協働的な学びに欠かせない要素。
- ・「なんとかなる」(沖縄ではなんくるないさ)。明けない夜はない。あきらめない。
- ・「ありのまま」、自分らしさを發揮させる。「つぶやき」でもよいという。

17 「チャット GPT」で授業はどう変わるか

- ① 読む力と書く力→学校教育の中核を占めるが、AIにとって代わられるかも。
- ② 話す力と聞く力→学校教育の盲点かも
- ③ 「話す力」と「聞く力」はどこで育てるか
学校行事、自然体験活動、勤労体験活動等で育てるが、基礎基本は「授業」や「学活」で育てる必要がある。
- ④ 子供に興味関心を持ってもらうには、「ネタ」と「発問」が大切になる。
- ⑤ 「教えられること」と「教えられないこと」の峻別が大切。

18 ミッションと(使命感)とビジョン(目標・戦略)とパッション(情熱)はなぜ必要か。

この3つの順位をつけてみてください。

- 1位 ()
- 2位 ()
- 3位 ()